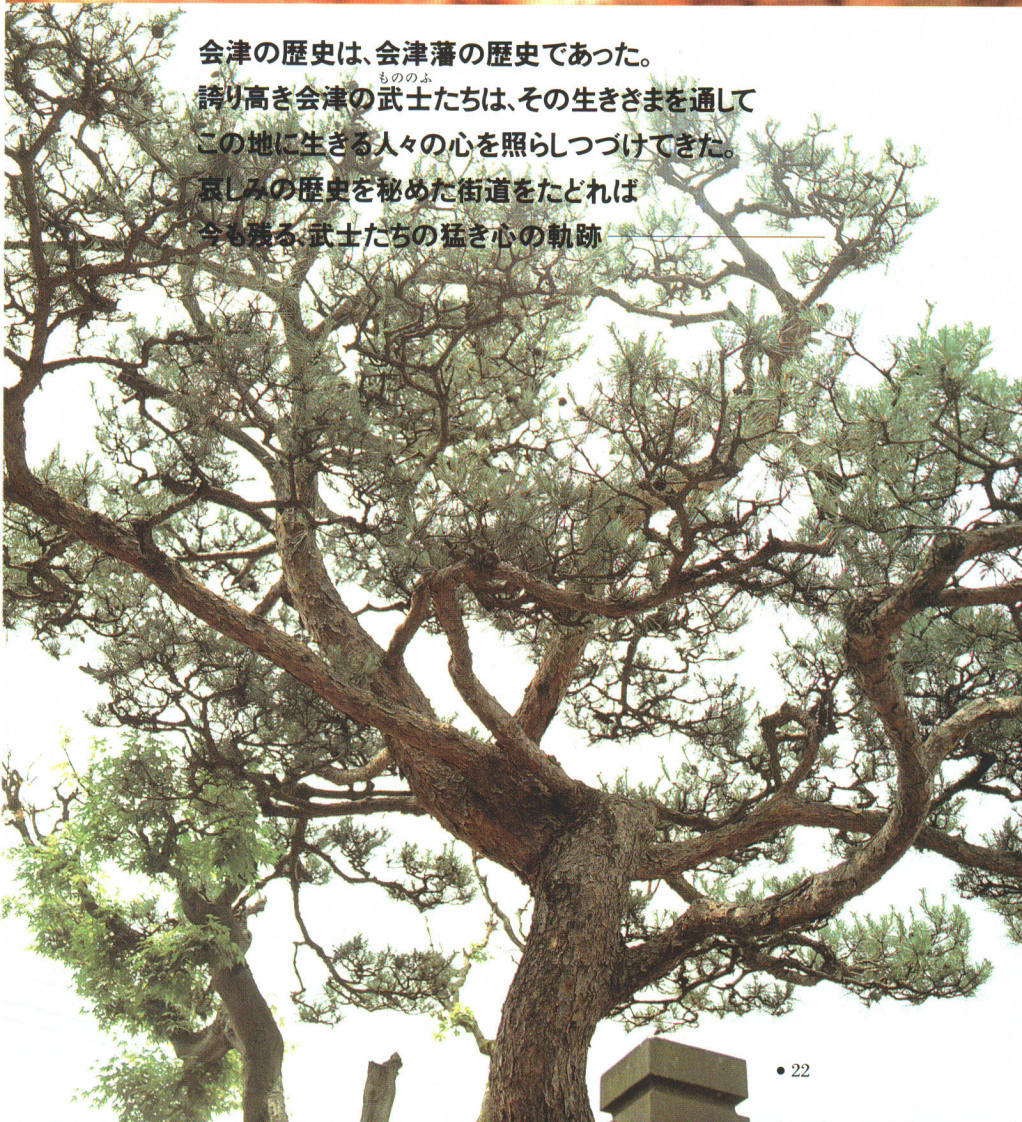




道話 街山 史方 歴四

会津の歴史は、会津藩の歴史であった。
誇り高き会津の^{ものよ}武士たちは、その生きざまを通して
この地に生きる人々の心を照らしつけてきた。
哀しみの歴史を秘めた街道をたどれば
今も残る、武士たちの猛き心の軌跡



武士の^{ものよ}猛き心にくらぶれば
数にも人らぬ我身ながらも
戊辰戦争で若い命を散らした娘子軍中野竹子。
時代を越えて胸を打つのは、竹子の猛き心。
竹子もまた、会津の武士であった。

中野竹子

戊辰戦争の後遺症が生んだ束松事件。
新政府の役人の横暴に、旧藩士の怒りが爆発。
役人を束松峠で斬殺したものであった。
ニセガネ造りも関わるミステリアスな事件には、
複雑な時代背景が深い影を落としている。

束松事件

雪晴れて、心にかなうあしたかな
赤穂四十七士のひとり、堀部安兵衛が
生まれ育った故郷・会津坂下町。
生涯三度の仇討ちを果たした剣豪には
会津武士の熱い血が流れていた。

堀部安兵衛